

# 報 友 校 友 園 學 士 連 普

平成25年7月15日  
第 90 号

普 連 土 学 園 校 友 会 発 行  
東京都港区三田4-14-16 郵便番号 108-0073

責任者 富山 恵子  
電 話 03-3451-7700  
F A X 03-3451-1959

## 「あなたを待ってまゝ」

普連土学園校友会会長 富山 恵子（73回生）

初夏の爽やかな風と陽ざしの中で普連土学園の生徒たちが生き生きとスポーツや勉学に動んでいる姿は、昔も今も変わるものではありません。

今年、学園は一二六回生の新入生を迎えました。この長い学園の歴史とともに校友会の歴史の重みを感じつつ、このたび校友会会長の大役をお受けすることになり、身の引き締まる思いでいっばいでございます。

「普連土学園百年史」を開きますと、校友会についての最初の記述は次のような記述で始まります。「大正二（1913）年十一月六日には、創立二十五周年記念式典を行ったが、翌七日の昼には校友会の集まりを開き夜は文学会が公開された。」そしてさ



らに読み継ぎますと、その後校友会は徐々に発展し大正七年（1918）年十月には付属聖教幼稚園を設立し、校友会が経営の責任を持ち、園長委員、保母も校友生であったとあります。この幼稚園は昭和十九年まで続いたということです。昨年私は「富山さんと普連土の同窓生だ」という七十歳半ばの男性から声をかけられ驚いたのですが、まさにこの聖教幼稚園の卒園生だったので。

今の校友会は、幼稚園を経営するほどの力はありませんが、その心はしっかりと受け継がれていると思います。すなわち校友会会則にもあるとおり「会員相互の交誼を厚くし、また母校設立の精神に基づき一致協力して、その発展を援助することを目的とする」ということです。

校友会では、会員同士の親睦と学園への支援を目的に様々な行事や活動を行っています。

皆様への情報発信としての会報の発行、毎年十一月に後援会と共催で行うバザーの開催、クリスマス礼拝、

校友会総会、勉強会、今年はバスハイク等があります。また、同好会では、コーラスの会、聖書の会、バザーの手芸品を作成する手芸の会そして手仕事の会等。どの活動も校友生が教えたり、教わったり、共に準備したりしており、集まるというの間に少少女時代にもどり、先輩後輩共に和気藹々とした笑い声の絶えない会合となっております。また、バザーのお手伝いにも集まってくださる年代を見ますと二十代から八十代までの方々が仲良く、楽しく、学園のために嬉々として働いてくださっています。校友会はこのような会員一人ひとりの尊い奉仕の精神から成り立っているのだということを感じずにはいられません。そしてこの奉仕の精神は、普連土学園の教育の中で、自然にこくごく普通に私たちが心の中に根付いたものだと思えます。

この会報をお読みになっていらっしゃる方々の大部分は、校友会行事に参加することがない方や参加したくとも参加できない方々であると思います。でも、校友会は普連土学園卒業生皆の会であることを、お忘れにならないでください。校友会はいつでも、大きく手を広げてあなたをお待ちしています。

2013年度

# 校友会総会

6月1日  
(土)  
11時～2時30分  
●福造  
●新渡戸  
●ローズホール  
●出席者  
159名

2013年度の校友会総会は6月1日(土)に母校を会場にして開催されました。幸い、快晴に恵まれ159名の出席がありました。

第一部 総合司会副会長渋谷美智子  
奏楽 酒井 恵生

礼拝 司会 会長 高山宣子  
讃美歌 五三六番 二九八番  
聖書「ヨハネによる福音書」

一五章一節～一七節  
学校報告 校長 浜野能男

▼126回生142名が入学。▼昨年のバザーで卒業生達と話したが、30年経っても先生や校友のことを話し合い、支えあっている。▼高3年生は清里清泉寮で修業会があり、6年間のこと、将来のことなどを談話して決まったグループで話し合っただ。普通土の生徒なら誰とでも話し合いが出来るという。▼校友生にはバザーや、礼拝でお話をしてもらって生徒と触れ合う機会を持っている。▼財政面でも、建築的にも優れた中学校舎の維持、補修、簡素・質素を旨とする学園にあっても、コンピュータ、実験設備の充実、体育館

の空調設備計画などで校友生に支えられていて、感謝している。

事務会議事

2012年度年次報告

副会長 渋谷美智子  
・総会 6月2日 162名出席  
・映画試写会 6月16日 参加55名  
「ヤコブへの手紙」  
・音楽会 6月27日 参加142名  
サントリーホール

指揮 三ツ橋敬子(106回生)  
スロヴァキアフィルハーモニー管  
弦楽団 これは校友生特別割引の  
チケットの幹旋

・バザー 11月10日  
後援会と共催  
校友生の当日手伝い156名  
・クリスマス礼拝 12月1日  
参加110名

講師 岩崎俊夫学園前理事長  
「悲しみから喜びへ」  
出版「会報」88号・89号発行  
・お祝い贈呈

4月 新入生に校章入りタオル  
9月 敬老祝いに絵葉書セット  
3月 卒業生(120回生)に小

概抄

2012年度会計・特別会計報告

会計 寺山由美子  
(別表参照) 右は承認された

2012年度監査報告

辻あき江監事より会計監査報告

2013年度年次計画

副会長 渋谷美智子  
・総会 6月1日(土)  
新渡戸福造ホール、ローズホール  
・館強会 6月16日(土)  
ローズホール 13時30分

講師 飯高京子氏(NGOネパール少教民族識字教育支援の会・元上智大学教授・日本友和会書記長)  
・バス旅行 10月3日(木)  
千葉美術館めぐり  
・バザー 11月9日(土)

後援会と共催  
・クリスマス礼拝 12月14日  
A音楽室 11時  
・DVD観賞会 3月頃予定  
出版「会報」90号・91号発行  
・お祝い贈呈

4月 新入生に校章入りタオル  
9月 敬老祝いに絵葉書セット  
3月 卒業生に小旗抄

2013年度会計予算案  
会計 寺山由美子  
(別表参照) 右は承認された

役員改選 指名委員長 島田 恵子

任期満了の役員につき選考の結果  
次の3名を推薦した。

(新任) 会長 冨山恵子 73回  
副会長 寺山由美子 82回

会計 川島弥生子 100回  
(退任) 会長 高山宣子 66回

副会長 石神澄子 73回  
会計 寺山由美子 82回

この件は承認された。  
指名委員の交代承認

会長 高山 宣子

(新任) 千田孝子 53回  
(退任) 二瓶公子 50回

浅田昭子 69回  
委員会委員長紹介 会長 高山 宣子  
同好会紹介 会長 高山 宣子  
ミニコンサート

平川潤とHARRY STARS

平川さんの愉快で楽しいトーク  
とウクレレとハワイアンバンドの  
演奏。範子夫人(81回生)のボー  
カルとダンスも入り、会場一同リ  
ズムに弾んでいました。

第二部 観劇会 ローズホール

司会 副会長 石神 澄子

久しぶりの方々や挨拶を交わし、  
歓談しながら鑑賞のお弁当を頂きま  
した。大津財務理事から、在学時の  
教科書を寄贈して欲しいとのこと。

教科書を寄贈して欲しいとのこと。

普通土学園校友会2012年度収支決算書

(2012年4月1日～2013年3月31日)

●収入の部			
科目	予算金額	決算金額	備考
会費	4,560,000	4,781,000	高校生校友会費
運営費	4,500,000	4,188,000	校友生納入分(2094円)
校友会グッズ収益	10,000	0	
バザー収益	1,000,000	1,487,038	
専任活動協力金	100,000	371,267	新奉命特設金、基金、クリスマス献金
雑収入	10,000	36,627	タオル・コピー・ブックシート代他
収入計	10,180,000	10,863,932	
前年度繰越金	3,100,112	3,100,112	
合計	13,280,112	13,964,044	
●支出の部			
科目	予算金額	決算金額	備考
総会費	300,000	241,058	謝礼、お花代他
雑会費	100,000	75,329	幹事会お茶菓子代他
人件費	1,700,000	1,611,230	事務手当+交通費
委員会活動費	560,000	429,994	専任・出張・バザー委員会
通信費	2,500,000	1,503,357	会報80-89号・幹事会、総会連絡費
印刷費	770,000	732,774	会報80-89号・総会案内
事務費	400,000	312,471	事務用品、封筒、コピー機保守料金他
光熱水費	360,000	360,000	
交通費	300,000	282,150	
電話料	300,000	296,701	電話、FAX通信料、連絡費
郵便費	500,000	349,681	入学校、卒業祝、敬老祝、お楽しみカード
備品費	350,000	257,806	災害用備品
支部連絡費	40,000	40,000	関西支部
クリスマス礼拝	130,000	70,806	お花代、親睦会費用
専任活動費	400,000	381,037	女性の室へルプ、CFJ、UNICOR、水戸支部
同好会補助費	230,000	230,000	コーラス部、製菓の会
雑費	20,000	12,065	送料、その他
基本金積立	1,500,000	1,500,000	
特別積立	1,500,000	1,500,000	
奨学金積立	1,000,000	1,000,000	
名簿積立	0	0	
予備費	320,112	0	
支出計	13,280,112	11,154,394	
次年度繰越金	0	2,809,650	
合計	13,280,112	13,964,044	

会計監査の結果、適正であることを報告いたします。

2013年4月20日

監事 におき江 印  
監事 朝澤 勉以子 印

普通土学園校友会2013年度予算書

(2013年4月1日～2014年3月31日)

●収入の部			
科目	予算金額	備考	
会費	4,560,000	在校生(高校)380名×12,000円	
運営費	4,200,000	校友生納入分	
バザー収益	1,200,000		
専任活動協力金	300,000	幹事会特設金、クリスマス献金他	
雑収入	10,000	コピー、ブックシート代他	
前年度繰越金	2,809,650		
合計	13,079,650		
●支出の部			
科目	予算金額	備考	
総会費	300,000	謝礼、お花代他	
雑会費	100,000	幹事会お茶菓子代他	
人件費	1,700,000	事務手当+交通費	
委員会活動費	660,000	専任・出張・バザー委員会	
通信費	2,000,000	会報90号-91号、幹事会、総会連絡費	
印刷費	700,000	会報90号-91号、総会案内	
事務費	400,000	事務用品、封筒、コピー機保守料金他	
光熱水費	360,000		
交通費	300,000		
電話料	300,000	電話、FAX通信料、連絡費	
郵便費	500,000	入学校、卒業祝、敬老祝、お楽しみカード	
支部連絡費	40,000	関西支部	
クリスマス礼拝	130,000	お花代、親睦会費用	
専任活動費	400,000	女性の室へルプ、CFJ、災害地援助	
同好会補助費	230,000	コーラス部、製菓の会	
雑費	20,000	謝礼手数料、その他	
基本金積立	1,000,000		
特別積立	3,000,000		
奨学金積立	0		
小計	12,140,000		
予備費	939,650		
合計	13,079,650		

2012年度特別会計収支決算書

(2012年4月1日～2013年3月31日)

●基本金積立(校友会積立金)			
科目	金額	科目	金額
前年度繰越	9,845,670		
経常費より	1,500,000		
利息	1,569	次年度繰越	11,348,229
合計	11,348,229	合計	11,348,229
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越	22,271,545	学校への寄付金	20,000,000
経常費より	1,500,000	諸経費	420
利息	1,589	次年度繰越	3,772,715
合計	23,773,135	合計	23,773,135
●奨学金積立			
前年度繰越	7,049,804	奨学金	100,000
経常費より	1,020,000	諸経費	420
利息	1,000,000	次年度繰越	8,969,384
合計	9,069,804	合計	9,069,804
●名簿積立			
前年度繰越	1,781,257	次年度繰越	1,781,542
利息	285	合計	1,781,542
合計	1,781,542	合計	1,781,542
●校友会への寄付金(校友会等からの寄付金口座)			
前年度繰越	4,035,953	次年度繰越	4,068,228
寄付	51,630	合計	4,068,228
利息	645		
合計	4,088,228	合計	4,068,228

2013年度特別会計予算書

(2013年4月1日～2014年3月31日)

収入		収入	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越	11,348,229	前年度繰越	1,781,542
経常費より	1,000,000	利息	300
利息	1,500	合計	1,781,842
合計	12,349,729	合計	1,781,842
●特別積立(学園への寄付金積立)		●寄付金(校友会等からの寄付金口座)	
前年度繰越	3,772,715	前年度繰越	4,068,228
経常費より	3,000,000	寄付	50,000
利息	1,000	利息	600
合計	6,773,715	合計	4,138,828
●奨学金積立			
前年度繰越	8,969,384		
経常費より	0		
奨学金返済	500,000		
合計	8,469,384		



高山さん石神さん  
有難うございました



平川 潤と  
ハッピースターズ

## 福岡少年院での 院生との学び

88回生 田中規子

30年近く前、子どもが、中2、小6、小3の時、夫の転勤で横浜から福岡に転居してきました。たまたま私の住んだ、福岡市南区長住という住宅街は、学び、語り、広げよう、をスローガンに「どの子にもゆきとどいた教育」を目指す。ふくおか教育を考える会、の発祥の地でした。

転居して何日も経たないうちに、声をかけていただいて入会し、沢山の学びを経験させていただきました。

若い人にバトンを渡して、ふくおか教育を考える会の役を降りると同時に、「4月から福岡少年院の英語講師に」というお声が掛りました。

「教育はどうあったらいいか、子どもの見方、などを学んできた私にとっては、降ってわいたようなお話を、ありがたくお受けして5年がたちました。」

福岡少年院は、福岡市内の小高い山の中腹にある「老司古墳」の跡地にあり、ここで学業の他に、みかん、大根などのいろいろな季節の野菜や果物をつくり（義務教育終了後の院生です）、子どもたちの食材として生かされます。ゆたかな緑に囲まれ、頂上からは市内が一望できます。秋には万国旗のためく青空の下、ここで大運動会が開かれ、院生の親御さんやおじい様、おばあ様も駆けつけて大いに盛り上がります。

「少年院」というところについて、例の知識を持たないまま最初の授業に臨んだ時は、するどい目つきで一斉にじろりと睨まれることを覚悟して、案内の先生の後ろから教室に入りました。

ところが、少年たちはまっすぐに背筋を伸ばし、前を向いて待機しています。私が教壇にたちますと、係の生徒の「起立！ 礼！」に合わせて「お早うございます！ お願います！」と挨拶。私が「お早うございます」と挨拶を返すと、「着席！」に合わせて席に着き、背筋を伸ばし、澄んだ目で私に顔を向けます。期待はずれ（？）のオープニングでした。

少年院には、中学生から19歳まで

の少年（120〜130人）が入院し、義務教育課程を学んだり、出院に備えて、介護、クリーニング、自転車の整備などを学びます。高校受験の準備をする少年もいます。更生の程度によって一人一人の出院の時期は異なります。

多分どの教科でも同じだと思いますが、子どもたちは教師の授業を真剣に受け、反応もよく、質問も沢山してくれました。クラスの人数は一定ではなく、年度途中での入院、出院がありますが、私の英語のクラスは、12、13人〜20人位で、授業のためには理想的なクラスサイズです。

体育会、卒業式、成人式なども、一般の学校と同じように行われ、私の方が楽しんだり、感動したりさせていただいています。

以下、子どもへのアンケートの一部です。子ども理解の一助に、

●もしよければ 音楽を取り入れてほしいです。

●前置詞や一般動詞のことなども、詳しく知りたいです。

●筆記体を教えてほしいです。

●英語のVTRを見たり、ネイティブの英語を聞いたりしてみたい。

●もう一度基礎からやりたいです。

少年院の授業を通して、教育条件さえ整えば、一人一人に合ったやりかたをすれば、私の教育信条である「駄目な子はいない」、「どの子も天まで伸びる」ことに確信を持つことができました。

ポケテ、授業ができなくなってしまうように、私自身絶えず学び続け、身も心もリフレッシュし、子どもとの楽しい時を過ごせるよう願っております。

6年間、普通士学園で学んだ「感謝する心」、「困った人の役に立つ人間」、「平和な世界へのささやかな貢献」等などは、私の生き方の柱となり、私の心と身体の中に深く映づいていることに、改めて感謝しております。





## 給食の思い出

66回生 鈴木郁子

私は昭和28年に普通女学校園に入学して卒業する迄ずっと給食のお世話になりました。主食だけで良いと言われ当時の親の苦勞など全然わかっていなかった私は、ご飯だけ持って行くのが何となく恥しかったのです。でも姉と二人で私立の学校へ通っていたので母は給食をとてても有難いと思っていたのだと後年知りました。当時の親は「大変だ」とか「辛い」など一言も言わず子供としては暢気を私でした。

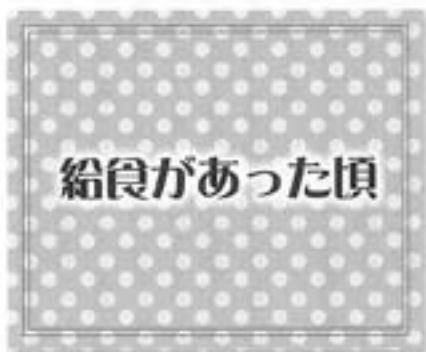
給食当番の日は登校して朝の礼拝の後すぐに給食室に行きました。好きな英語の授業に出られないのは一寸残念でした。お手伝いしたので覚えてるのは、モヤシのヒゲ取り、じゃが芋の皮むき、玉ねぎのみじん切りなどです。涙がポロポロ出て辛かったのですが、やがて良い匂いがしてきて完成した時は、本当に嬉しかったです。一番好きなのは「クローヨー」でした。今まで味わったことのない美味しさで幸せな気分になりました。

お昼は教室に戻り皆と一緒に昼食

を頂きました。食前の歌は日々の糧を 与えたいもう

恵の御神は ほむべきかな  
 だったように思います。

午後また給食室に行き後片付けを手伝いました。フキンを洗って干しながら何となく充実した一日であったとも思いました。世の中が貧しくて食べてゆくのも大変な時代の心温まる思い出として残っています。



## 給食当番

61回生 田中 晶

昭和23年に田町校舎に入学して、給食は材料の野菜と卵を各自家から持ち寄って、野外で調理されたもの

だったが、そこで当番をした記憶は無い。

2年生で聖坂の新校舎に移った。現在の高3校舎の辺りにあった給食場は小屋建てで、窓は煙出しを兼ねた無双窓なのでガラスは無く窓が風が入ってくる。奥に薪を焚く大きなかまどが二つあり、おゆりおぼさんがこの辺りで指図をして給食当番は下ごしらえを始めた。冬場は寒さでじゃが芋を剥く手、卵を割る手はかじかむが、そのうちに体は寒さを感じなくなっただけでしてはとてくる。大鍋で煮炊きをし、味付けをするのはおゆりさんだが、みんなの好きなクローヨーやカレー、ポテトサラダなどとても美味しかった。用意された材料は肉、卵、調味料、そのほか、まだものが乏しかった当時にあっては上質なものであった。

給食当番はカバンにエプロンと三角布を入れて登校し、一日中授業は受けず、それでも困ることはなかったのは良き時代と言わば可い。

昭和2年から勤められたおゆりおぼさん（小栗ゆりさん）は28年夏に退職されましたが、このとき全員が当時の講堂に集まって感謝の会(?)を催したと記憶している。

栄養士の木田さんと補助の方が給

食を担当されることになり、その初日に私は給食当番で献立はカレーでした。その日に起こった事は別の機会に。

学園の給食（副菜）は大正13年に始まり、大正14年2月11日発行の「アサヒグラフ」の（東京の女学校）で、普通女学校の特長として毎日数名の生徒が実習を兼ねて全校生徒の昼食を作っていることが、写真と説明で載せられている。その姿は私たちの頃と同じです。

私にとって給食当番を経験したことは、授業以上にいろいろ勉強した場であり、忘れられない学園生活の一つであった。直後の大学の寮生活で日曜日の夕食当番では戸惑うことなく仕事ができた。



大正時代の給食当番  
 「アサヒグラフ」4巻7号より

## 校長室だより

派野能男



四月には一四二名の126回入学を迎え、新年度のスタートを切りました。例年よりも多くの新入生を迎え、教室いっぱい生徒に中担当の先生方を始め、ご苦労も多いことと思いますが、普通土学園に学びたい生徒がそれだけ多かったこととうけとめ、新入生が一人一人の希望にかなうような学園生活となるよう、全力で取り組んでいきたいと思っております。

校友生の皆様には、毎年3回全校礼拝をお願いし、また創立記念礼拝でも頻繁にお話をいただいております。学園が、またフレンド派が大切にしている、すべての人は神の糧、内なる光を有したかけがえのない存在であるという思いを心に刻んで、様々な経験を積んで社会で活躍されている校友生の皆様のお話は、在

校生に学園の精神にもついで自らの生き方、将来を考えるのに大変有意義な時となっております。これからも是非様々な方々に校友生にお力添えをいただきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

秋のバザーも、校友会、後援会のご尽力で、学園への直接のご支援のみならず、校友生が学園をおとすれ、旧交を温める貴重な場となっております。私も昨年のバザーで、普通土学園に勤めだして間もない頃の生徒と数談の時を持つことができました。中には遠く奈良からの校友生もいて、普通土の卒業生の絆の深さを改めて感じました。

五月に高三生は清里で修養会を行います。そこでの話し合いでも、自分たちの思い、悩みを率直に語り合い、「普通土の仲間とは何でも話せる。本当に普通土に入ってよかった」と口々に語り合っていました。在校生にも、校友生にもこの学園で学んだことが、またそこで培った友情が人生を支えるかけがえのない糧となっていることを感じました。

皆様からの支えをいただきつつ、今後も生徒一人一人に学園の精神が根付くよう、毎日の教育に努めていきたいと思っております。

### 喜寿の祝と 最後のクラス会

61回生 柴田 貴子

十二歳の時普通土学園の門をくぐり大勢の友に出会ってから六十五年の長いお付き合いが始まりました。

戦後の物資の少ない時代でしたが、学園生活は明るく楽しく過ごした思い出があります。沢山の思い出を胸に卒業し各々の道へと進みました。

今年私達は喜寿を迎えました。元気で過してこられた事・変わらぬ友情が続けられた事への感謝をこめてお祝いしこの節目を以って最後とするクラス会を開きたいと思い、四月二十四日芝浦「牡丹」で行いました。

当日は二十名の出席者があり、各々に六十数年歩んで来た数々の思い・出来事等々を語り合いました。例えば、ご主人との出会い、苦しみ、悲しみを乗り越えた事、子育ての時代、孫を交えた生活、そして今は各々が穏やかで幸せな日々を過ごしている事を語り合い、予定時間を一時間以上も超過してしまいう程でした。

お店の支配人さんからは「喜寿の

お祝いですからご飯はお赤飯に致しますよ」「お料理を置く半月盆は金箔のついた物をこ用意いたしました」とのお申し出があり、お祝いと最後のクラス会に温かなご配慮を添えて頂きました。

いつまでも名残りつきない時間でしたが、これからは体に気をつけて水く交流を続けていきたいと思います。皆で約束をして散会致しました。

翌日には、楽しい会を有難う！感謝です！とお電話やメールを頂きました。

最後の会にふさわしい楽しい会が出来ましたのは、サポートしてくださった方々、参加された大勢の友のおかげです。

私からも申します。有難う！感謝です！……と。



梅田日/昭和23年(1948)5月 61回生入学年

普通士たより 学校近況

百六十一 債

今春、3年前に植えたジャーマンアイリスが中学校舎の玄関脇近辺に白と薄紫の花を5、6輪つけました。浦口先生を懐かしく思い出していただけるよう少しずつアイリスを増やしていったらと思っています。

5月5日に猫のトラが老衰のため天国へ旅立ちました。推定17、8才でした。トラを可愛がって下さりとうもありがとうございました。

3月に高校三年生131名が卒業し、4月に126回生142名を卒業、今年度の生徒数は801名となっています。

○今年度の教職員異動

【新任】

☆常勤講師 数学科 東後 絵里

☆非常勤講師 国語科 山田 美穂

☆非常勤講師 国語科 福田真紀子

☆非常勤講師 高田 芽子

数学科 西川 友紀

英語科 羽生 宏

理科 石原 世紀

高井 寛子

社会科 駒宮 彩香

武尾 聖子

聖書科 岡本 大空

保健体育科 堀田 祥世

☆嘱託から専任職員へ

熊本 洋子

竹田 理恵

☆常勤から専任要護教諭へ

青木 文枝

☆嘱託講師から非常勤講師へ

鳥羽 博

【退職】

☆専任教諭 大塚 嘉郎(社会科)

☆常勤講師 堀井 砂織(数学科)

☆専任教員 澤井 健

堀内 睦子

☆非常勤講師

浜 詩子(国語科)

原 貴子(国語科)

山村英里子(国語科)

宇津川 徹(理科)

加藤 康弘(理科)

竹中隆太郎(理科)

岩橋むつみ(理科)

北川 正弥(聖書科)

黒須大文(技術家庭科)

☆嘱託職員 竹村 昌子

(原田美代子先生記)

関西フレンド会便り

坂本 由紀子(71回生)

四月十三日(土)西梅田のビル三十階にある見晴らしの良い、ローマの雰囲気のあるイタリア料理店で、関西フレンド会が開かれました。

東京本部からは高山会長と石神副会長が、早朝の地震による交通機関のみだれにもかかわらず、定刻にお着きになりました。京都から御出席の野村さんと圓城さんは、止まった電車の中しげらぐいらしたとの事で一時間くらいおくれ到着されました。

お会いしたいと思っていた方たちが、おいでにならなかったのは残念でしたが、41回生の野村さん、52回生の圓城さんはお元気で、野村さんは出かける時には、服装をあれこれ考えるのが良いと言っておられました。圓城さんはあみものをなさるし、ゴルフもなさると言うことでした。私は途中からのフレンドへの転入生でしたが、学園からは単位の問題など、1年下の生物の授業に出たり、東京農業大学に通う卒業生に、家庭教師に来ていただき、保健室で化学のテストを受け、単位をもらったたり

させていただきました。教室では仲間に入れていただき、修学旅行もなつかしい思い出です。

関西フレンド会は二回目の出席ですが、あたたかく迎えていただき、心の支えとなっておりです。皆様と楽しくお食事ができましたし、関西に住みながら標準語を使ってくられている者の、気苦も多分同じだと思います。帰りは野村さん圓城さんと、阪急梅田まで歩いてうれしく、女生の昔とおなじようなおもいとなりました。



# 校友会だより

このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局（03-3451-7700）まで。

## ◆今年のバザーは11月9日です

今年のバザーは後援会との共催で11月9日（土）に開催いたします。バザーでは毎年100万円余の純益をあげ積立てしてきました。昨年度は学校へ2000万円の寄付をすることが出来ました。今後も学校の発展を援助するために皆様と共に頑張ります。ご自宅にある不用品の献品、バザー当日のお手伝い、あるいは手作り品等の買物など、どのような形でも結構です。同封のチラシを参照の上、会員の皆様のご参加とご協力をお待ちしております。

## ◆校友会クリスマス礼拝

日時 12月14日（土）11時～14時  
場所 普通士学園A音楽室（礼拝）  
生徒ホール（親睦会）  
講師 未定

申し込みは不要です。親睦会では軽食をいただき、讃美歌を歌い、また、ゴラス部のクリスマスキャロルを聞いて静かにクリスマスを祝います。是非大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

## ◆事業委員会よりのお知らせ

―バス旅行のお知らせ―

日時 2013年10月3日  
集合 田町駅前9時（詳細後日）  
旅程（予定） 田町駅前→東山魁夷記念館→翠州亭（すいすい・田スイス大使館）にて、「特選ランチ」ホキ美術館→海ほたる（東京湾上パークエリア）→田町駅前  
参加費用 5000円（美術館入館料・昼食代込・払込詳細は後日）  
\*ホキ美術館は、写真絵画専用美術館であり、建築大賞受賞の建物  
申込は紙に「バス旅行参加希望」として氏名・回生・電話番号・生年月日（保険加入のため必要）記入の上、校友会事務局宛（FAX）（03-3451-1959）  
\*電話による申込は不可

申し込み締切 8月15日

参加費用振込先と旅程詳細は締切後ご案内致します。申込多数の場合抽選となります。ご不明な点は校友会事務局までお問い合わせ下さい。

03-3451-7700

火・水・木・金 午後一時～四時

## ◆校友会事務局の夏休み

事務局は8月1日から9月2日まで夏休みのため閉室いたします。ご連絡は9月にお願いたします。

## 訃報

謹んでお知らせ申し上げます。心より哀悼の意を表します。

38	市村貴美子（田中）	12・10・2
39	青木 静（関根）	12・10・16
39	福田 知子（堀）	13・2・9
39	板橋 照子（竹森）	13・3・27
39	宮武 美代（書上）	12・5・3
43	木村 ひで（金井）	12・7・18
44	森 美知子（黒沼）	12・10
44	由利 泰子（藤井）	13・3・9
45	岡村 弘子（熱田）	12・3・3
45	今村 敏子（今村）	13・4・9
47	真野八重子（松本）	11・6
47	鈴木 啓古	13・1・19
47	高田 妙子（青木）	13・3・27
48	河村美津江（赤井）	12・4

## （運営費 納入のお願い）

校友会は活動のために皆様から運営費を納入していただいています。今年度分2000円を同封の郵便振替用紙（払込取扱票）にてお納め下さい。

48	福井 英子（福井）	12・9・27
48	城 寿子（君塚）	12・12・30
48	齊藤 徳子（松井）	13・3・24
49	曾根 幸枝（中村）	12・7・4
49	津島フヤ子（橋本）	12・12・17
49	野田 禮子	13・4・25
50	中川 陽子（安吉）	13・1・30
52	A新庄 浩子（三嶋）	12・9・2
52	A今村 元子	13・4・21
52	B古川美津子（渡部）	12・7
52	B島内 輝子	12・12・2
57	小原 郁子（仲野）	13・1・5
60	字井 貞子（水谷）	13・1・6
61	馬場 慶子（坂口）	13・2・18
63	藤井 照子（森本）	12・10・17
65	酒井 由紀子	12・9・16
68	田村 寧子（中村）	13・3・30
69	近藤 秋子（大沢）	13・3・28
74	大島茉莉子（村松）	12・9・17
85	村上 ちひろ	13・2・10
88	杉村美恵子	12
98	田村 陽子	12・6・2
103	高村 葵	12・11・23

## 編集後記

高山宣子さんには副会長、会長として9年間ご奉仕いただき本当に有難うございました。

みんなのネコ、トラ。は親切な聲  
役員さんにとられ旅立ちました。

（田中・馬杉・鈴木・森本）